

▼ ページ紹介と学習の流れ

序文を読み、単元の全体像を理解。次に、重要事項をなぞり書きして、頭にインプット。

9 近畿地方

産業では、和歌山のみかんや、阪神工業地帯の特徴が重要である。生活・文化では、古都とよばれる奈良・京都における歴史的景観を守る取り組みや、大阪・神戸の特徴、琵琶湖の水利用を理解しておこう。

1 都道府県と地形

① 平野
② リアス海岸
③ 山地・丘陵・高地
④ 湖沼・河川

2 気候 (図1・2)

① 北部 冬、北西の季節風の影響で雪が多く降る。
② 中部 一年中降水量が少なく、冬は比較的乾燥。
③ 南部 夏、南東の季節風の影響で雨が多く降る。紀伊山地の南東部は年に雨量の多い地域で、琵琶湖の年間降水量は約 400mm である。冬は北西の影響で比較的乾燥である。

④ 各地の気候 (図1)

⑤ 各地の気候 (図2)

能動的に取り組むための工夫も満載。

チェックシートで、本文の重要事項を再度確認。内容の定着をはかります。

9 近畿地方 チェックシート 17

1. 次の①～④にあてはまる語句を答えなさい。

① 平野
② リアス海岸
③ 山地・丘陵・高地
④ 湖沼・河川

2. 次の①～③の雨量図は、地図中のA～C地点のいずれかのものである。それぞれ地点の名称を、記号で答えなさい。

3. 次の①～④にあてはまる語句を記入するか、選択かきなさい。

(1) 近畿地方に属する府県は、(A)の府県を除く。(A)の府県を除く。また、三重県の県庁所在地は(②)市。滋賀県の県庁所在地は(③)市。兵庫県のある府県は(④)府である。

(2) 和歌山県では、表のAにあてはまる(⑤)や(⑥)りんご・梅)の生産が盛んである。

(3) 図1のA～Cは、大阪府・兵庫県・和歌山県のいずれかである。和歌山県は(⑦)A・(⑧)Cである。

4. 歴史的景観を守るための取り組みとして、記しているものをA～Cから一つ選び、記号で答えなさい。

A 電線が地中に埋める。
B 屋外広告物の大きさ・表示位置を規制する。
C 建物については、高さより高くし、できるだけ派手なデザインにする。

左ページの内容をTRYで確認して暗記する。

9 近畿地方

TRY ① 右の①～④にあてはまる語句を答えなさい。

① 山地
② 湖沼
③ 平野
④ リアス海岸

TRY ② あとの問いに答えなさい。(3) 各欄不同・完答。

(1) 近畿地方の位置は、本州中部部の東寄りか西寄りか、答えなさい。
(2) 近畿地方に属する府県は、(A)～(C)のどれか、答えなさい。
(3) 近畿地方には、府名と異なる府庁所在地が3つある。その府と府庁所在地をそれぞれ答えなさい。

TRY ③ 右の地図を見て、①～④にあてはまる語句を記入するか、選択かきなさい。

(1) 甲の雨量図を(①)A、乙の雨量図を(②)Bという。
(2) Yの雨量図は(③)A・(④)Bのいずれかである。Aは(⑤)A・(⑥)Bのいずれかである。Aは(⑤)A・(⑥)Bのいずれかである。Aは(⑤)A・(⑥)Bのいずれかである。
(3) 下の各雨量図は、A～C地点のいずれかのものである。Aは(⑦)A・(⑧)Bのいずれかである。Aは(⑦)A・(⑧)Bのいずれかである。

ワンポイント 特訓 8 降水量を表で示した問題

表のA～Cは、兵庫県神戸市(日本海側の気候)、神戸市(瀬戸内の気候)、三重県四日市市(太平洋側の気候)のいずれかの月別降水量である。豊田県と四日市市はそれぞれどれか、記号で答えなさい。

	2月	4月	6月	8月	10月	12月	年間
A	57	102	162	91	98	41	1216
B	158	100	158	127	181	198	2327
C	119	259	408	488	358	107	3849

入試によく出る箇所は「特訓」で徹底的に。

ここで、基本重要事項を再チェック。

9 近畿地方 基礎確認問題

1 右の地図を見て、あとの問いに答えなさい。(3)は3点×2、他4点×3

(1) A～Gにあてはまる語句を答えなさい。

(2) 図1は、A～Gのいずれかの雨量図である。A～Gのいずれかである。A～Gのいずれかである。A～Gのいずれかである。

(3) 図1のA～Gは、大阪府・兵庫県・和歌山県のいずれかである。和歌山県は(①)A・(②)Cである。

9 近畿地方 実力アップ問題

1 右の地図を見て、あとの問いに答えなさい。(1) 解答欄: 6点×3

(1) A～Gの府県のうち、府名と府庁所在地が異なるものを三つ選び、記号で答えなさい。(1) 解答欄: 3点×3

(2) この表は、和歌山県の気候である。X・Yにあてはまる語句の組み合わせとして、正しいものをA～Cから一つ選び、記号で答えなさい。(1) 解答欄: 3点×3

ア X=和歌山 Y=みかん イ X=和歌山 Y=さくらんぼ
ウ X=和歌山 Y=みかん エ X=和歌山 Y=さくらんぼ

2 あとの問いに答えなさい。(4) 7点×2、他6点×3

(1) 図1のA～Cは、和歌山県・鳥取県・熊本県のいずれかである。和歌山県はA～Cのどれか、記号で答えなさい。(1) 解答欄: 3点×3

(2) 図2のA～Cは、2007年・2015年のいずれかの気候図である。2015年のものはどちらか、歴史的景観保全の観点から答えなさい。(1) 解答欄: 3点×3

(3) 和歌山工業地帯の説明として、正しいものを次のA～Cから一つ選び、記号で答えなさい。(1) 解答欄: 3点×3

ア 八幡製鉄所の完成後、工業が発展した。また1970年代以降、自動車工場が集中するようになった。
イ 臨海部にはソーラーパネルや液晶パネルをつくる工場、内陸部には中小工場が集中している。
ウ 出版社・新聞社が多いため、印刷業が盛んである。

高校入試レベルの問題で仕上げ!

※ページは、開発中のものとなります。

新刊

数学

算数

英語

国語

理科

社会

その他



読者編